

2022年度 第2四半期（上期）決算説明資料

2022年10月31日

塩野義製薬株式会社



SHIONOGI

本日のアジェンダ

1. 2022年度 上期決算の概要 (P.3-10)
2. 2022年度 業績予想 (P.11-16)
3. 今後の成長に向けた取り組み (P.17-24)
4. 株主還元 (P.25-26)

1. 2022年度 上期決算の概要

連結経営成績

(単位：億円)

	22年度				21年度		対前年同期	
	当初 通期予想	当初 上期予想	上期実績	対上期 進捗率	上期実績	UP率	増減額	
売上収益	4,000	1,800	1,508	83.8%	1,451	3.9%	57	
営業利益	1,200	570	282	49.5%	427	△ 33.8%	△ 144	
コア営業利益*	1,200	570	255	44.7%	439	△ 41.9%	△ 184	
税引前四半期利益	1,680	860	680	79.0%	508	33.7%	171	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,360	715	573	80.1%	531	7.8%	41	

- 売上収益、税引前四半期利益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、COVID-19関連プロジェクトへの投資を継続しながらも対前年で増収増益
- COVID-19関連製品の売上収益未達により上期予想は未達
 - COVID-19関連を除く売上収益、各種利益項目は、上期予想を達成

為替レート (期中平均)	2022年度 前提	2022年度 4-9月実績
ドル	125円	134.04円
ポンド	160円	162.94円
ユーロ	135円	138.76円

連結経営成績（COVID-19関連製品の予想を除く）

- 上期予想から以下の項目を除いて記載

- COVID-19製品の売上収益450億円
- COVID-19製品の売上に伴う売上原価

（単位：億円）

	22年度			21年度	対前年同期	
	当初 上期予想	上期実績	対上期 進捗率	上期実績	UP率	増減額
売上収益	1,350	1,508	111.7%	1,451	3.9%	57
営業利益	175	282	161.3%	427	△ 33.8%	△ 144
コア営業利益	175	255	145.6%	439	△ 41.9%	△ 184
税引前四半期利益	465	680	146.2%	508	33.7%	171
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	420	573	136.3%	531	7.8%	41

ベースビジネスは上期予想を達成

連結損益計算書

	22年度				21年度	対前年同期	
	当初 通期予想	当初 上期予想	上期実績	対上期 進捗率	上期実績	UP率	増減額
売上収益	4,000	1,800	1,508	83.8%	1,451	3.9%	57
	22.0	17.5	18.2		18.6		
売上原価	880	315	274	86.9%	270	1.4%	4
売上総利益	3,120	1,485	1,234	83.1%	1,181	4.5%	53
販売費・一般管理費・ 研究開発費 合計	47.5	50.6	64.5		51.0		
	1,900	910	972	106.8%	741	31.2%	231
販売費・一般管理費	30.0	32.8	32.1		31.6		
	1,200	590	485	82.2%	459	5.6%	26
研究開発費	17.5	17.8	32.3		19.4		
	700	320	487	152.3%	282	72.9%	206
その他の収益・費用	△20	△5	20	-	△14	-	34
営業利益	30.0	31.7	18.7		29.4		
	1,200	570	282	49.5%	427	△33.8%	△144
コア営業利益	30.0	31.7	16.9		30.2		
	1,200	570	255	44.7%	439	△41.9%	△184
金融収益・費用	480	290	398	137.1%	82	386.7%	316
税引前四半期利益	42.0	47.8	45.1		35.0		
	1,680	860	680	79.0%	508	33.7%	171
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,360	715	573	80.1%	531	7.8%	41

(単位：億円)

主な増減要因 (対前年同期)

・ 売上収益

- 増加：ロイヤリティー収入（HIVフランチャイズ）、海外子会社/輸出
- 減少：国内医療用医薬品

・ 研究開発費

- 増加：COVID-19関連プロジェクトへの投資

・ 金融収益・費用

- 収益増加：ViiV社の順調なビジネスを反映した配当金の増加
：21年度4Q受領予定であったViiV社からの配当金の受領（一過性要因）
：ViiV社のGilead社との和解に伴う一時金の受領による配当金の増加（一過性要因）

・ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

- 大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を21年度1Qに認識

事業別売上収益

(単位：億円)

	22年度				21年度		対前年同期
	当初 通期予想	当初 上期予想	上期実績	対上期 進捗率	上期実績	UP率	増減額
国内医療用医薬品	786	355	334	93.9%	471	△ 29.2%	△ 138
海外子会社/輸出	416	181	199	110.4%	174	14.5%	25
Shionogi Inc.	130	60	74	123.4%	79	△ 6.2%	△ 5
Fetroja®	-	-	47	-	29	65.0%	19
平安塩野義*/C&O	148	63	56	88.9%	47	19.0%	9
Shionogi B.V. (欧州)	84	34	43	127.1%	23	88.3%	20
製造受託	148	63	74	117.4%	84	△ 12.0%	△ 10
一般用医薬品	134	63	63	99.3%	60	3.7%	2
ロイヤリティー収入	1,404	682	833	122.0%	654	27.4%	179
HIVフランチャイズ	1,339	670	804	119.9%	612	31.2%	191
その他	65	12	29	239.3%	41	△ 29.6%	△ 12
COVID-19関連製品**	1,100	450	-	-	-	-	-
その他	12	6	6	98.9%	8	△ 21.9%	△ 2
合計	4,000	1,800	1,508	83.8%	1,451	3.9%	57

主な増減要因 (対前年同期)

- 国内医療用医薬品**
 - 増加：インチュニブ®、ビバンセ®の売上
 - 減少：サインバルタ®の売上
ゾフルーザ®、ラピアクタ®の返品
- 海外子会社/輸出**
 - 米国：増加：セフィデロコル (Fetroja®) の売上
：減少：FORTAMET®販売権等の移管に関する一時金を21年度1Qに受領 (22億円)
 - 欧州：増加：セフィデロコル (Fetroja®) の売上
- ロイヤリティー収入**
 - HIVフランチャイズ
：増加：ViiV社によるHIVフランチャイズの販売が好調に推移

国内医療用医薬品売上収益

(単位：億円)

	22年度		上期実績	対上期進捗率	21年度		対前年同期	
	当初 通期予想	当初 上期予想			上期実績	UP率	増減額	
インチュニブ [®]	195	90	95	104.8%	76	24.3%	18	
ビバンセ [®]	11	5	6	138.5%	3	97.6%	3	
感染症薬	134	43	△6	-	58	-	△64	
インフルエンザファミリー	51	3	△50	-	15	-	△64	
サインバルタ [®]	61	31	30	98.7%	115	△73.4%	△84	
オキシコンチン [®] 類	45	23	23	100.2%	25	△7.2%	△2	
スインプロイク [®]	33	15	16	106.8%	13	29.3%	4	
アシテア [®]	6	3	3	95.9%	2	9.8%	0	
ムルプレタ [®]	1	1	1	93.7%	1	△7.9%	△0	
ピレスパ [®]	24	12	14	114.3%	20	△31.1%	△6	
その他	276	133	152	114.1%	159	△4.6%	△7	
クレストール [®]	33	17	21	126.4%	31	△30.3%	△9	
国内医療用医薬品	786	355	334	93.9%	471	△29.2%	△138	

<感染症薬構成製品>

- ・ ゾフルーザ[®]
- ・ ラピアクタ[®]
- ・ ブライトポック[®] Flu・Neo

□ インフルエンザファミリー

- ・ フィニバックス[®]
- ・ フルマリン[®]
- ・ フロモックス[®]

- ・ シオマリン[®]
- ・ バンコマイシン
- ・ バクタ[®]

- ・ フラジール[®]
- ・ イソジン[®]

ゾフルーザ[®]・ラピアクタ[®]の返品について

今年度内に使用期限が切れる約53億円（ゾフルーザ[®]：約48億円、ラピアクタ[®]：約5億円）の返品計上

- **卸在庫発生の原因**

- 2シーズン連続した流行の未発生
- 製品使用期限が短い
 - > ラピアクタ[®] Bagは3年、ゾフルーザ[®]は当初2年*（先駆け審査指定制度適用による）

“必要な時に必要な量の製品を生産し、お届けする”ことが急性感染症薬の流通の理想像
これまでの状況を一旦清算し、

売りを透明化（売上≒処方量）するとともに、在庫のトレーサビリティ向上を目指す

**「安定供給」と「廃棄低減」を両立し、持続可能な急性感染症の医薬品流通
の実現に向けた中長期的な取り組みを加速する**

上期の成果と進捗

- **COVID-19を除く売上収益、各種利益項目の上期予想の達成**

- インフルエンザファミリーの返品による収益減少を除く国内事業、海外事業、ロイヤリティー収入は順調に進捗

- **COVID-19関連プロジェクトの進展**

- COVID-19治療薬エンシトレルビルのPhase 2/3試験Phase 3 Partにおいて主要評価項目を達成

- エンシトレルビルのグローバルでの提供に向け、各種臨床試験や各国政府/外部支援機関との交渉が進展

- > Global Phase 3 試験 (SCORPIO-HR) の開始

- > 中国での申請資料の事前提出の開始、韓国での申請に向けたIldong社とのサブライセンス契約の締結

- > LMICs*への提供に向けたMedicines Patent Poolとのライセンス契約の締結

- **新たな成長ドライバーの育成、獲得**

- 研究開発パイプラインの進展

- 新規抗真菌薬オロロフィムに関するF2G社とのライセンス契約の締結

- 変形性膝関節症に対する疼痛治療薬Resiniferatoxinに関するGrünenthal社とのライセンス契約の締結

通期予想の達成、中長期的な成長に向けて順調に進捗

2. 2022年度 業績予想

業績予想の変更について

SHIONOGIを取り巻く事業環境の変化

外部環境の変化

- 円安などの為替影響の拡大
- 中国国内でのGE政策の転換による影響の顕在化、コロナの影響による人流の抑制

下期に想定されるイベント

- エンシトレルビルの国内・海外での実用化
- エンシトレルビルの発症予防、小児試験の開始
- COVID-19ワクチン（S-268019）の申請

下期業績予想の当初からの主な変更点

• 売上収益

- **ロイヤリティー収入の上方修正**
 - ▶ ViiV社によるHIVフランチャイズの販売が好調に推移
- **中国事業の下方修正**
 - ▶ エンシトレルビルの製造、販売体制の構築にむけた活動への注力
 - ▶ 新薬を中心としたビジネスへの方向転換

• 費用

- **販売・管理費、研究開発費の増額**
 - ▶ COVID-19を含む注力品目への積極投資
- **売上原価の削減**
 - ▶ プロダクト・ミックスの変更に伴う売上原価の減少を反映

業績予想の修正（連結経営成績）

（単位：億円）

	22年度 通期予想			22年度 下期予想			21年度	対前年（通期）	
	当初予想 (5/11)	修正予想 (10/24)	修正額	当初予想 (5/11)	修正予想 (10/24)	修正額	通期実績	UP率	増減額
売上収益	4,000	4,100	100	2,200	2,592	392	3,351	22.3%	749
営業利益	1,200	1,200	-	630	918	288	1,103	8.8%	97
コア営業利益*	1,200	1,200	-	630	945	315	1,106	8.5%	94
税引前当期利益	1,680	1,740	60	820	1,060	240	1,263	37.8%	477
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,360	1,420	60	645	847	202	1,142	24.4%	278

- 通期予想について売上収益、税引前当期利益、親会社の所有者に帰属する当期利益を上方修正

－ 親会社の所有者に帰属する当期利益は過去最高益

- 成長ドライバーへの積極投資を継続するため、営業利益については据え置き

為替レート (期中平均)	2022年度前提 (5/11)	2022年度前提 (10/24)	2022年度 4-9月実績
ドル	125円	138円	134.04円
ポンド	160円	162円	162.94円
ユーロ	135円	140円	138.76円

業績予想の修正（連結損益計算書）

（単位：億円）

	22年度 通期予想			22年度 下期予想			21年度	対前年（通期）	
	当初予想 (5/11)	修正予想 (10/24)	修正額	当初予想 (5/11)	修正予想 (10/24)	修正額	通期実績	UP率	増減額
売上収益	4,000	4,100	100	2,200	2,592	392	3,351	22.3%	749
売上原価	22.0 880	19.5 800	△80	25.7 565	20.3 526	△39	16.5 554	44.4%	246
売上総利益	3,120	3,300	180	1,635	2,066	431	2,797	18.0%	503
販売費・一般管理費・ 研究開発費 合計	47.5 1,900	50.7 2,080	180	45.0 990	42.7 1,108	118	50.2 1,682	23.6%	398
販売費・一般管理費	30.0 1,200	27.6 1,130	△70	27.7 610	24.9 645	35	28.4 952	18.6%	178
研究開発費	17.5 700	23.2 950	250	17.3 380	17.8 463	83	21.8 730	30.1%	220
その他の収益・費用	△20	△20	-	△15	△40	△25	△12	71.5%	△8
営業利益	30.0 1,200	29.3 1,200	-	28.6 630	35.4 918	288	32.9 1,103	8.8%	97
コア営業利益	30.0 1,200	29.3 1,200	-	28.6 630	36.5 945	315	33.0 1,106	8.5%	94
金融収益・費用	480	540	60	190	142	△48	160	238.4%	380
税引前当期利益	42.0 1,680	42.4 1,740	60	37.3 820	40.9 1,060	240	37.7 1,263	37.8%	477
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,360	1,420	60	645	847	202	1,142	24.4%	278

業績予想の修正（事業別売上収益）

（単位：億円）

	22年度 通期予想			22年度 下期予想			21年度	対前年（通期）	
	当初予想 （5/11）	修正予想 （10/24）	修正額	当初予想 （5/11）	修正予想 （10/24）	修正額	通期実績	UP率	増減額
国内医療用医薬品	786	764	△22	431	431	-	891	△14.3%	△127
海外子会社/輸出	416	393	△23	236	194	△42	344	14.4%	50
Shionogi Inc.	130	144	15	70	71	1	138	4.8%	7
平安塩野義*/C&O	148	104	△44	84	48	△37	102	2.1%	2
Shionogi B.V.（欧州）	84	86	2	50	43	△7	50	71.7%	36
製造受託	148	148	-	85	74	△11	174	△15.3%	△27
一般用医薬品	134	132	△1	71	70	△1	112	18.7%	21
ロイヤリティー収入	1,404	1,550	146	722	718	△4	1,813	△14.5%	△262
HIVフランチャイズ	1,339	1,502	164	669	699	30	1,740	△13.6%	△237
その他	65	48	△17	53	19	△34	73	△34.5%	△25
COVID-19関連製品**	1,100	1,100	-	650	1,100	450	-	-	1,100
その他	12	12	-	6	6	-	18	△32.6%	△6
合計	4,000	4,100	100	2,200	2,592	392	3,351	22.3%	749

業績予想の修正（国内医療用医薬品売上収益）

（単位：億円）

	22年度 通期予想			22年度 下期予想			21年度	対前年（通期）	
	当初予想 （5/11）	修正予想 （10/24）	修正額	当初予想 （5/11）	修正予想 （10/24）	修正額	通期実績	UP率	増減額
インチュニブ®	195	200	4	105	105	-	164	21.7%	36
ビバンセ®	11	13	2	6	6	-	8	61.4%	5
感染症薬	134	88	△47	91	93	2	118	△25.8%	△30
インフルエンザファミリー	51	1	△50	48	51	3	31	△95.3%	△29
サインバルタ®	61	61	-	30	30	-	159	△61.7%	△98
オキシコンチン®類	45	45	-	22	22	-	48	△6.5%	△3
スインプロイク®	33	34	1	18	18	-	27	28.0%	7
アシテア®	6	6	-	3	3	-	5	16.4%	1
ムルプレタ®	1	1	-	1	1	-	1	2.4%	0
ピレスパ®	24	24	-	12	10	△2	38	△37.8%	△14
その他	276	294	18	143	142	△1	324	△9.2%	△30
クレストール®	33	39	6	16	18	2	59	△33.4%	△20
国内医療用医薬品	786	764	△22	431	431	-	891	△14.3%	△127

<感染症薬構成製品>

- ・ ソフルーザ®
- ・ ラピアクタ®
- ・ ブライトポック®Flu・Neo

□ インフルエンザファミリー

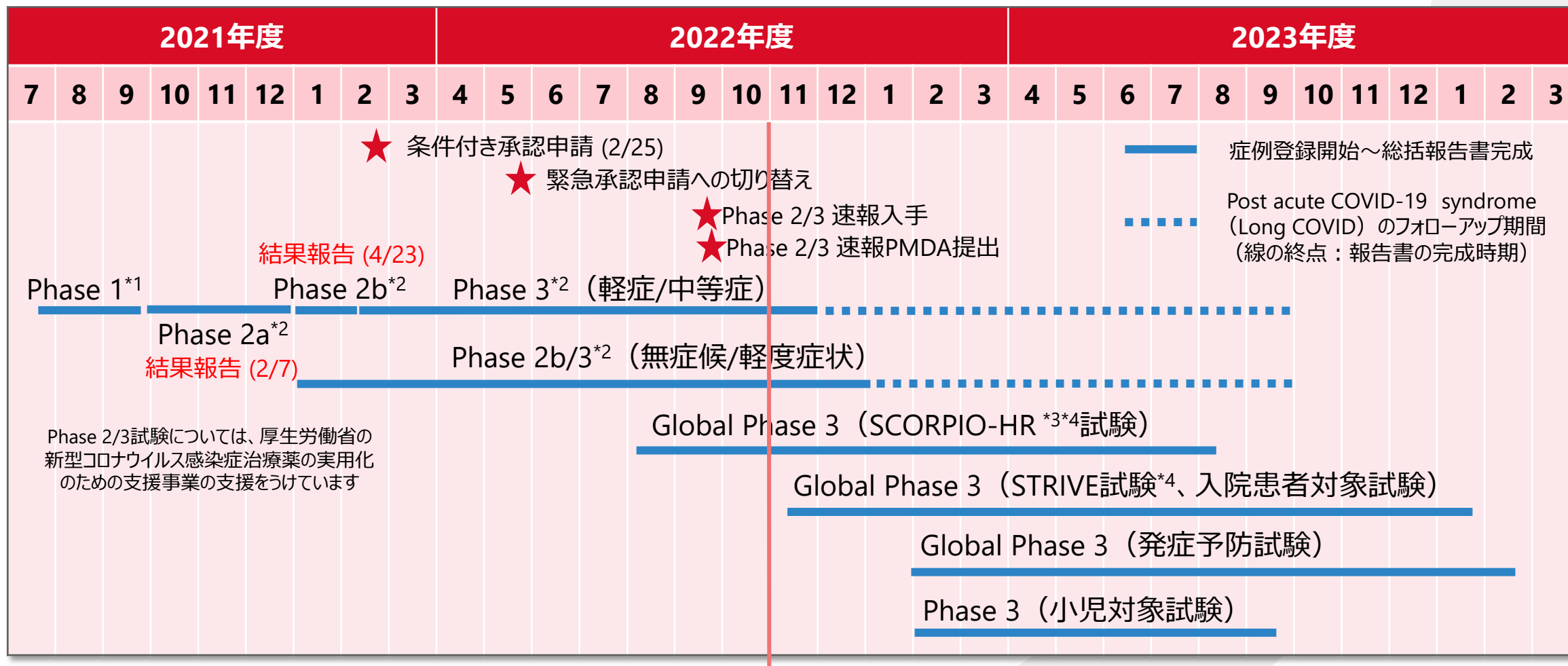
- ・ フィニバックス®
- ・ フルマリン®
- ・ フロモックス®

- ・ シオマリン®
- ・ バンコマイシン
- ・ バクタ®

- ・ フラジール®
- ・ イソジン®

3. 今後の成長に向けた取り組み

エンシトレビル (S-217622) : 進捗サマリー



Phase 2/3試験については、厚生労働省の新型コロナウイルス感染症治療薬の実用化のための支援事業の支援をうけています

2022年10月31日時点

エンシトレビル

Phase 2/3試験の継続

- Phase 3 partの良好な結果速報を入手（9月28日）
 - COVID-19の5症状が消失するまでの時間をプラセボに対し有意に短縮：**主要評価項目の達成**
 - 投与4日目（3回投与後）におけるウイルスRNA量を有意に減少させ、優れた抗ウイルス効果を確認

国内での実用化

- 今後の承認審査ならびに審議について、厚生労働省およびPMDAと協議中

海外実用化の動き

- 韓国：ILDONG社とのサブライセンス契約締結
 - 承認申請に向け当局と協議中
- 中国：平安塩野義が承認申請に向け資料提出を開始
- 欧米：FDA、EMA、MHRAと協議を継続
- 低中所得国：Medicines Patent Poolとのライセンス契約締結
 - 117カ国への提供に向けた活動

供給

- グローバル供給体制の構築
 - 自社による年間1,000万人分の供給に向け生産拡大
 - さらなる供給拡大に向け、中国、米国での製造を計画

エンシトレルビル

Global Phase 3試験

- **SCORPIO-HR試験**
 - 対象：入院を伴わないSARS-CoV-2感染患者
- **STRIVE 試験**
 - 対象：入院を伴うSARS-CoV-2感染患者
 - 2022年11月開始予定
- **SCORPIO-PEP*試験（発症予防試験）**
 - 対象：SARS-CoV-2感染症患者の同居家族
 - 2023年1月開始予定

小児対象試験

- 12-18歳未満
 - Phase 2/3試験結果をもとに日米欧の適応取得を検討
- 6-12歳未満
 - 日本で先行実施
 - 2022年12月開始予定
- 0-12歳未満
 - グローバルで別途実施

S-268019 : 進捗サマリー



*1 [jRCT2031210269](#) *2 [jRCT2031210383](#)
 *3 [jRCT2031210470](#) *4 [NCT05212948](#)
 *5 [jRCT2051210151](#) *6 [jRCT2031210613](#)
 *7 [jRCT2031220063](#) *8 [jRCT2011220011](#)
 *9 [jRCT2031220224](#)

2022年10月31日時点

試験期間：症例登録開始～総括報告書完成

S-268019 : 開発状況

成人 : 承認申請状況

- 中和抗体価比較試験
 - 非臨床パート : 薬理区分、毒性区分
- 事前相談実施中
 - 臨床パート : Phase 1/2試験、Phase 2/3試験、追加免疫比較試験
- 資料準備中
 - CMCパート、臨床パート : 中和抗体価比較試験、追加免疫試験 (国内追加試験)

今年中 (2022年) に申請予定

小児 : 臨床試験実施中

- 青少年から検討を開始し、学童における用量検討を実施中

変異株への対応

- S-268019臨床試験検体における変異株中和抗体価の確認
 - 追加免疫時の中和抗体価はコミナティによる追加免疫時の中和抗体価と同程度
- 変異株抗原の製造準備
 - オミクロン株の遺伝子情報をもとにした抗原製造プロセス検討は最終段階
 - マウスを用いた非臨床試験において、追加免疫により変異株に対する中和抗体価の上昇を確認

国内・海外事業の強化に向けて

国内事業

・ 感染症事業

- インフルエンザとCOVID-19のツインデミックへの対応
 - ＞ どちらも診断可能なコンボキットの販売促進
 - ＞ インフルエンザの流行に備えて、ゾフルーザ[®]・ラピアクタ[®]の情報提供を実施
- エンシトレルビルの国内提供に向けた取り組み

・ ADHDファミリー

- Web専任で活動するE-MRの全国展開の開始
 - ＞ 成人診療施設や低シェア施設での実績を拡大
- デジタル施策によりカバーできるADHDターゲット医師が増加

海外事業

・ COVID-19関連製品

- 実用化に向けた各国関係者との協議を本格化

・ 欧米事業

- セフィデロコルの価値最大化
 - ＞ 既上市国でのさらなる浸透
 - ＞ 供給国の拡大

・ 中国事業

- エンシトレルビルの製造、販売体制の構築
- 新薬の臨床開発の推進と販売体制の構築
- AI技術を活用した研究アプローチの拡充
- 平安Good Doctorとの研究から販売にいたる協業の更なる推進

ViiV社によるHIVフランチャイズの進展

インテグラーゼ阻害剤を軸とした新たな治療法の推進

- **Dovato（2剤レジメン）**
 - 1年間でViiV社の売上 £ 10億を達成
 - 欧米スイッチ市場でのトップシェアを維持
- **Cabenuva（持効性注射剤：治療）**
 - 欧州でのCARISEL試験* の良好な結果
 - › オペレーションは問題なく実施可能
 - › 被験者の81%は既存の経口レジメンよりもスティグマが少ないと報告
 - 中長期の安全性と有効性を確認
 - › ATLAS-2M試験における投与後152週の追跡データ**
- **Apretude（長時間作用型注射剤：予防）**
 - 世界初・唯一の予防適応承認を取得した長時間作用型注射剤
 - 米国での発売以降、順調な立ち上がり
- **S-355598（超長時間作用型注射剤）**
 - 単回投与で3ヶ月以上の効果持続が期待される第3世代インテグラーゼ阻害剤***
 - 2022年中にPhase 1試験開始予定

短期および中長期の成長を促進

* CARISEL試験：欧州の各医療機関において持効性注射剤の最適な導入方法を検討し、医療従事者および患者にとっての受容性、妥当性、実現可能性を評価 (NCT04399551)

** ViiV社プレスリリース [ViiV Healthcare to present new long-term findings from its innovative 2-drug and long-acting HIV medicines portfolio at CROI 2022](https://www.viiiv.com/newsroom/viiiv-healthcare-to-present-new-long-term-findings-from-its-innovative-2-drug-and-long-acting-hiv-medicines-portfolio-at-croi-2022)

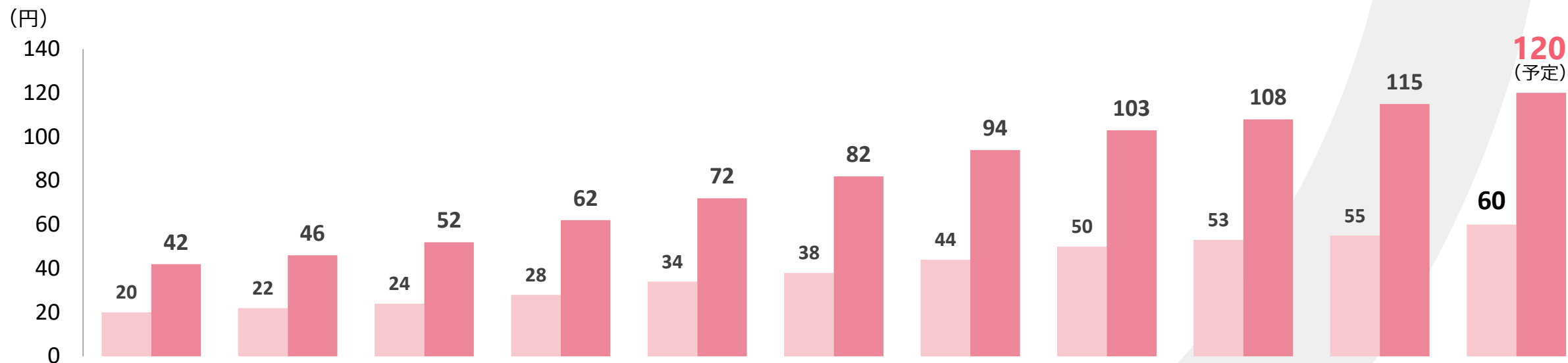
*** Shionogi R&D Day 2021資料 P.38参照 https://www.shionogi.com/content/dam/shionogi/jp/investors/ir-library/presentationmaterials/fy2021/20210929_RDday_jp.pdf

4. 株主還元

機動的な資本政策

・ SHIONOGIの成長とともに実感していただける株主還元政策

- 自己株式の取得・消却、政策保有株の持合い削減も含め、資本効率を向上
- 2022年度も11期連続の増配を予定

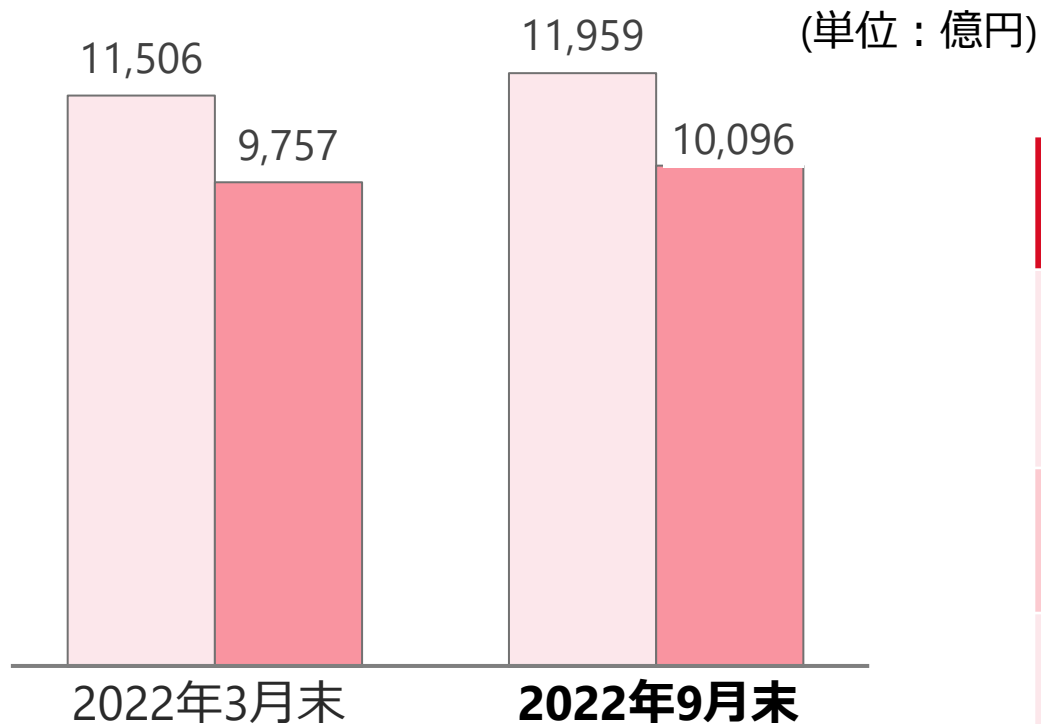


年度		12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
株自己	取得額	-	-	300億円	-	350億円	294億円	500億円	500億円	500億円	-	500億円**
	消却数	-	-	-	-	2,200万株	500万株	735万株	520万株*	-	-	420万株
DOE (%)		3.7	3.5	3.7	4.1	4.5	4.6	4.6	4.0	4.1	3.8	3.6 (予想)
ROE (%)		17.5	9.2	9.4	13.6	16.3	19.4	20.9	15.5	13.9	12.5	13.8 (予想)

Appendix

財政状態（連結、IFRS）

■ 資産 ■ 親会社の所有者に帰属する持分



	2022年 3月末	2022年 9月末
親会社所有者 帰属持分比率	84.8%	84.4%

単位：億円		2022年 3月末	2022年 9月末	増減額
資産	非流動資産	4,914	5,160	246
	流動資産	6,592	6,799	207
親会社の所有者に 帰属する持分		9,757	10,096	339
負債	非流動負債	329	359	30
	流動負債	1,244	1,270	26

新財団設立に伴う自己株式の処分、取得および消却

自己株式の処分（有利発行）

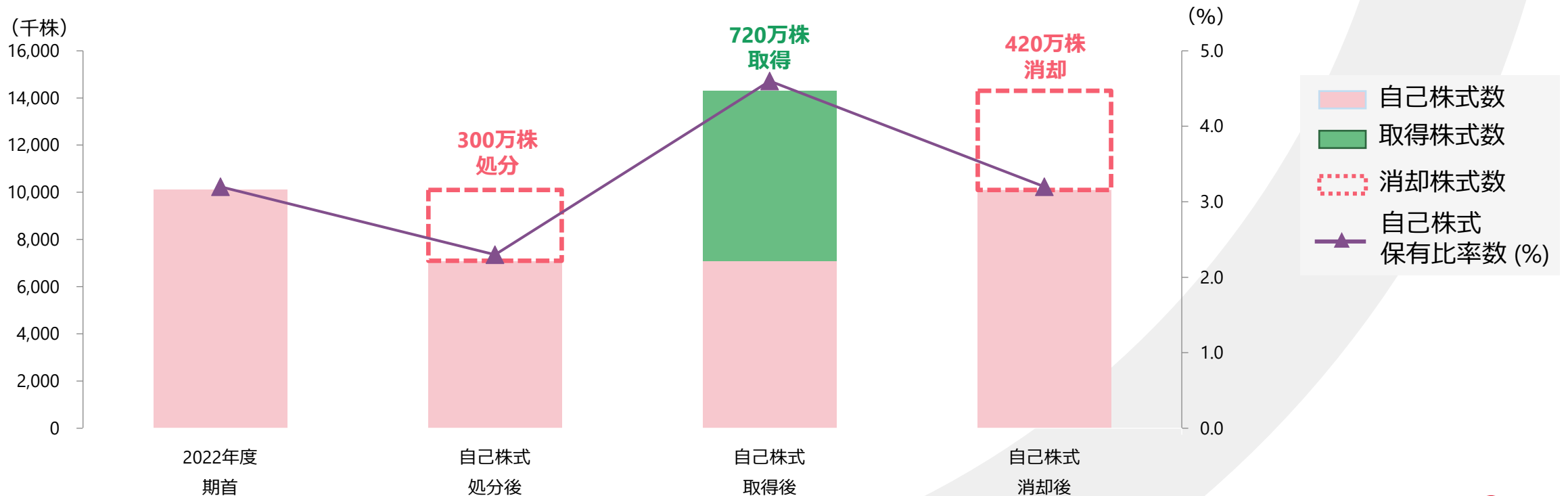
- 処分株式数：300万株
- 処分期日：2022/9/1

自己株式の取得

- 取得し得る株式の総数：720万株（上限）
- 取得価額の総額：500億円（上限）
- 取得期間：2022/6/24～2022/12/30（予定）
- 取得した株式の総数：3,389,700株（9月30日時点）
- 取得価額の総額：23,322,547,662円（9月30日時点）

自己株式の消却

- 消却する株式の総数：420万株
- 消却予定日：2023/2/10



今後のパイプラインのイベント 1/2

2022年10月12日現在 全てのイベントが記載されてはいません

プロジェクト	対象疾患	Stage	FY2022 3Q-4Q	FY2023	FY2024
Olorofim (F901318)	侵襲性アスペルギルス症	Phase 2b、 Phase 3	★ Ph2b中間速報 (3Q)		Ph3登録完了 (4Q) ★
S-337395	RSウイルス感染症	非臨床試験		● Ph1開始 (1Q)	
S-365598 (HIVフランチャイズ、アウトライセンス)	HIV感染症	非臨床試験	● Ph1開始 (3Q)		
Resiniferatoxin	変形性膝関節症に伴う疼痛	Phase 3			Ph3速報 (2Q) ★ ◆ 申請 (3Q)
Zatolmilast (BPN14770)	①脆弱X症候群 ②アルツハイマー型認知症	①Phase 2/3 ②Phase 2	①	★ Ph2b3速報 (4Q)	
Zulanolone (S-812217)	うつ病・うつ状態	Phase 3		Ph3速報 (3Q) ★ ◆ 申請 (4Q)	
S-151128	疼痛	非臨床試験		● Ph1開始 (4Q)	

● 試験開始 ★ 結果速報入手時期（開示時期は別途検討） ◆ 申請時期

今後のパイプラインのイベント 2/2

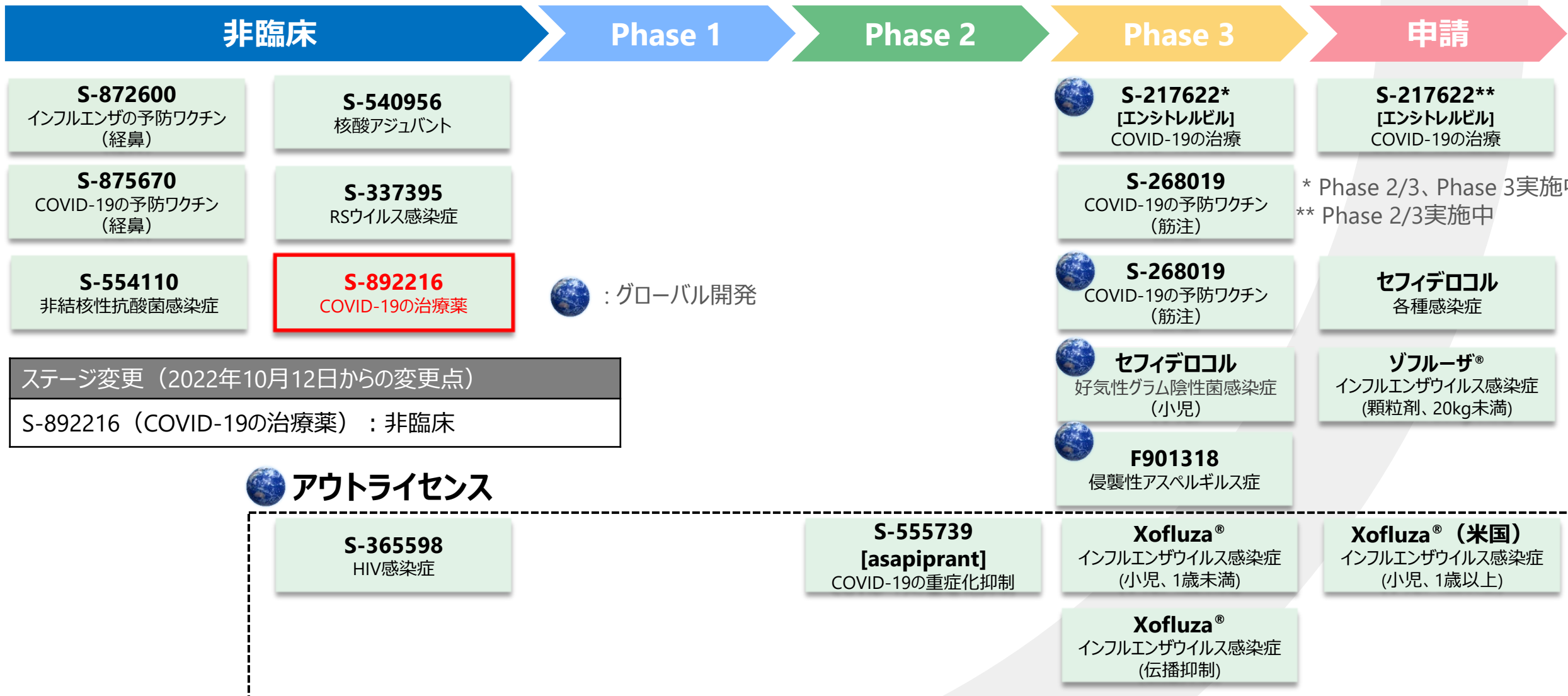
2022年10月12日現在 全てのイベントが記載されてはいません

プロジェクト	対象疾患	Stage	FY2022 3Q-4Q	FY2023	FY2024
レダセムチド (S-005151)	①栄養障害型表皮水疱症 ②急性期脳梗塞 ③変形性膝関節症 ④慢性肝疾患 ⑤心筋症	①追加試験実施中 ②Phase 3試験準備中 ③④医師主導治験実施中 ⑤医師主導治験計画中	① ② ⑤	Ph3開始予定 (4Q) Ph2検討中 (2Q)	申請 (3Q)
S-309309	肥満症	Phase 1	Ph1速報 (3Q) ★	Ph2開始 (4Q)	Ph2速報 (3Q) ★
S-531011	固形がん	Phase 1b/2			Ph2開始 (4Q)
S-770108	特発性肺線維症	Phase 1		Ph2開始 (1Q)	

● 試験開始 ★ 結果速報入手時期（開示時期は別途検討） ◆ 申請時期

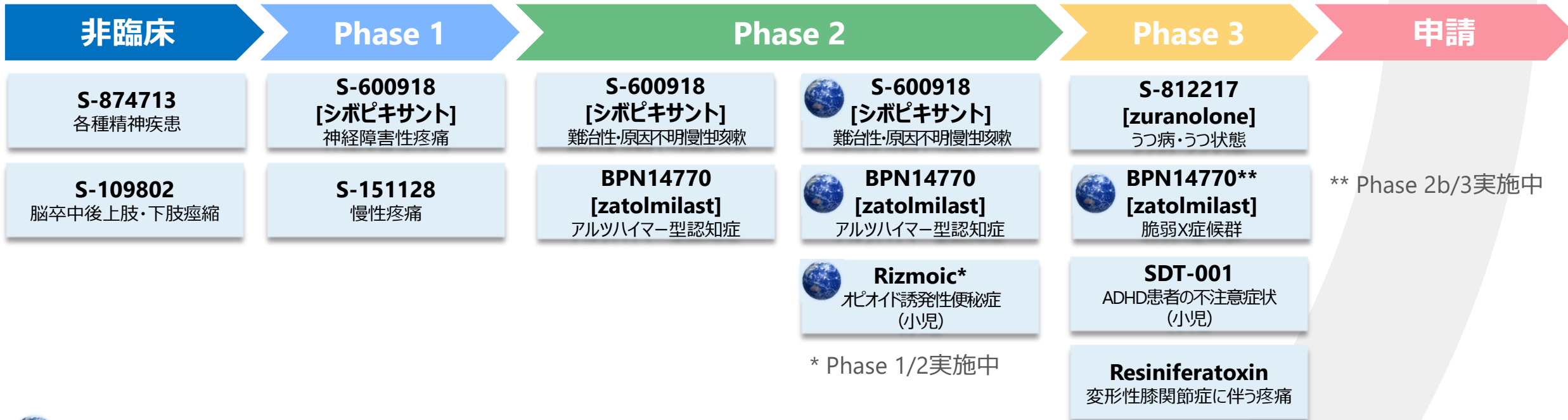
開発パイプラインの状況_感染症


2022年10月31日現在



開発パイプラインの状況_精神・神経、疼痛

2022年10月31日現在



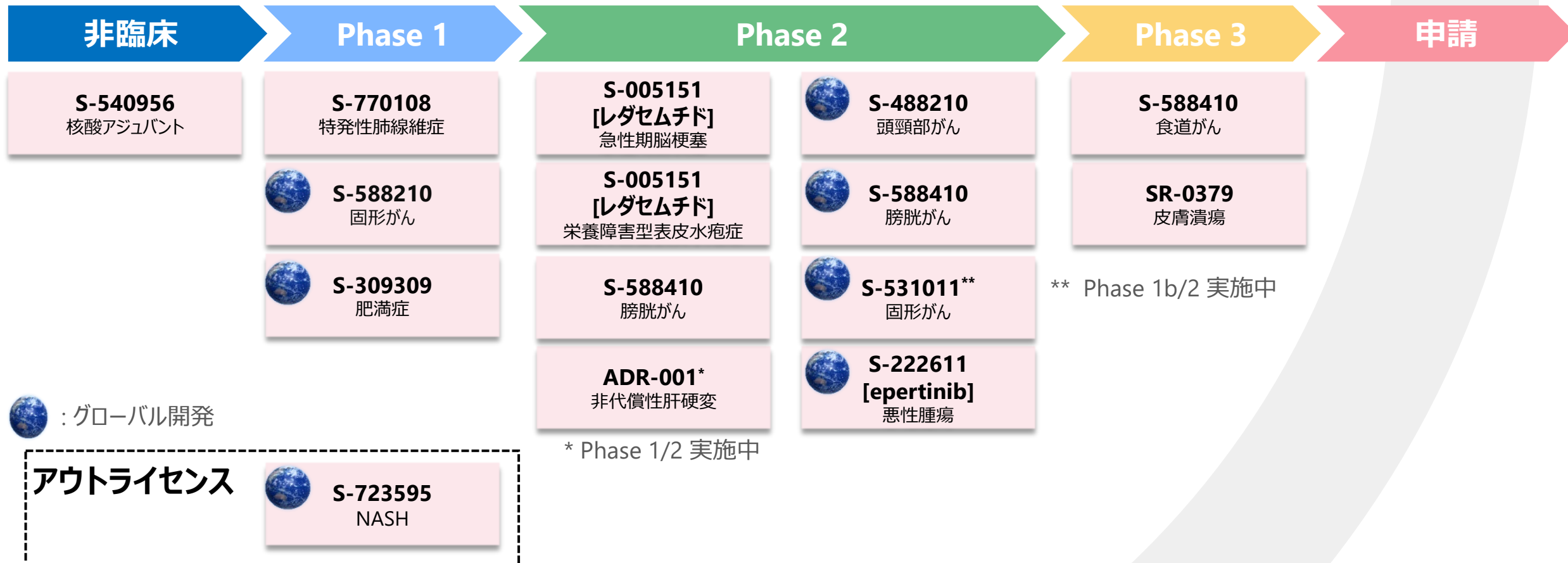
 : グローバル開発

アウトライセンス

S-0373
[ロバチレリン]
脊髄小脳変性症

開発パイプラインの状況_新たな成長領域

2022年10月31日現在



その他の成果*

・ 8月

- 普及に適した下水中新型コロナウイルスの高感度検出技術（EPISENS-S法）を開発
- コミュニケーションバリアフリープロジェクト「啓発漫画を未来の医療従事者に」クラウドファンディングの目標を達成
- 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が採用する全てのESG投資指数の構成銘柄に継続して選定

・ 9月

- パナソニックホールディングス株式会社からの協力を得て、ケニアの母子支援活動「Mother to Mother SHIONOGI Project」診療所の太陽光発電の稼働開始
- 塩野義製薬、シオノギヘルスケア、ピクシーダストテクノロジーズの3社による音刺激を通じた脳活性化の事業開始に向けた業務提携契約の締結
- 塩野義製薬とSASによる医薬品業界のDX推進に向けたデータ解析コンサルティングサービスの開始

・ 10月

- 自動化に適した下水中新型コロナウイルスの高感度検出技術（COPMAN法）を開発
- 大阪府枚方市と塩野義製薬が「感染症対策の支援・啓発」に関する連携協定を締結
- 米国感染症週間（IDWeek 2022）でのセフィデロコルのリアルワールドデータに関する発表
- Yui Connection株式会社の設立と事業の開始

将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文言とは異なる現実的な結論・結果を招き得る不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による審査期間や承認取得、国内外の保険関連改革、マネジドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制など、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 承認済みの製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を構築する能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の受容が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項により、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。
- 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 本資料は国内外を問わず、投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。
- 本資料の利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。